

第3回板橋区公共交通会議（R6.2.5）

- ・検討対象地域の選定 → 候補地域から、立地条件を踏まえ、地域を選定
- ・導入サービス候補の整理 → 考えられるサービスの比較検討

第1回意見交換会（R6.6.28・30）

現状・動向などを説明し、将来の不安などの意見交換を行い、地域の課題を把握。

第2回意見交換会（R6.9.30）

地域住民のアンケート結果からの課題や新たな交通手段を紹介し、再開発などを踏まえ地域の移動手段について意見交換。

第3回意見交換会（R6.12.16）

新たな交通手段のイメージ（短期・中期・長期）を紹介・現在のバス路線維持について意見交換。

第1回交通検討会（R7.5.29）

今回

東新町・小茂根地域において、国際興業バス「池55系統」（小茂根五丁目～池袋駅東口）の路線維持と、空白時間帯における新たに導入可能な交通について、地域との検討を実施。

## 一人ひとりの利用が、バス路線の維持につながります

現在、バス業界では、運転手不足などにより、減便や運行休止・廃止になる路線があるなど、以前のようなサービスを維持し続けることが困難な状況です。

東新町・小茂根地域は、「池55系統」も減便されており、平日は日中（10時～16時）の便がほぼなくなりました。

これ以上の減便を避ける一つの方法として、皆さんのがバスを利用する機会を増やしていただくことが重要です。

例えば、通勤・通学のほか、通院や池袋での買い物の際に利用するなど、外出での利用を心がけることが、バスの運行を支えます。



### お声をお聞かせ下さい

板橋区では、皆さんと共に地域の公共交通について考えるため、スマートフォンで答えるアンケートを実施しています。左の二次元コードから回答をお願いします。



### 連絡先

板橋区 都市整備部 都市計画課 交通企画都市基盤係

TEL:03-3579-2548 FAX:03-3579-5436  
Mail : t-koutsu@city.itabashi.tokyo.jp

意見交換会の開催内容は、区ホームページに掲載しています。



区ホームページ  
【令和7年7月作成】

# 東新町・小茂根地域 地域交通検討会 かわら版

東新町・小茂根地域での交通や移動について  
検討委員の皆さんと交通検討会を実施しました！



### 検討会対象地域



5月29日に桜川地域センターにて、地域の公共交通の課題について皆さんと共に考え、今後の利活用方法を検討し、実情に合わせた公共交通の補完についてグループ討議を行いました。

### ●令和7年度開催の交通検討会

	開催日時	議題
第1回	令和7年 5月29日（木）19時～	国際興業バス「池55系統」（小茂根五丁目～池袋駅東口）バス減便後の実態と「ちょっと不便」の乗りこなし術 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の交通の現状</li> <li>・路線バスの空白時間や空白地域をどう補うか</li> <li>・この地域らしい「元気な移動」を考える</li> <li>・班ごとの意見交換（フリーディスカッション）</li> </ul>
第2回	（予定） 令和7年 10月20日（月）19時～	バスと新たな乗物の共存を考える（案） <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーバスの活用法</li> <li>・新たな乗物の必要性はあるのか</li> <li>・意見交換（フリーディスカッション）</li> </ul>
第3回	（予定） 令和8年 2月頃 開催予定	議論の整理と町会の行動計画（案） <ul style="list-style-type: none"> <li>・議論の振り返りと町会の公共交通利用促進</li> <li>・バス運行空白時間に自主運行の可能性</li> <li>・国際興業バス「池55系統」（小茂根五丁目～池袋駅東口）の維持について</li> <li>・意見交換（フリーディスカッション）</li> </ul>

※ご希望があれば傍聴も可能です。事前に板橋区担当部署までお伝えください。

## 議題①地域の交通の現状

▶「ちょっと不便」でも使いこなす工夫。  
(時刻表や二次元コードの活用など)

### 議題①に対する委員の意見

- 平日昼間の時間帯に、近隣の病院や池袋への買い物などで利用していた。
- シルバーパスを活用してバスや電車の利用で、病院・レストラン・お店・レジャー施設へ行きたい。
- 行きのバス便はあるが、帰りのバス便はないので、別路線のバス時刻を調べて乗っている。  
(降車バス停から家までの距離は遠くなる)
- 減便後は、川越街道のバスと環七のバスを乗り継いで使っている。乗り換えは大変だが、バスの時刻を前もって調べて利用している。
- 減便による利便性の低下が  
「このバスにさらに乗らない」悪循環を起こしている。
  - ▶今あるバス路線を残すためにできること。
  - ▶路線バス(池55系統)の利用状況と減便の影響。  
「池55系統」(小茂根五丁目～池袋駅東口)の本数は、減便により平日朝夕のみで平日昼間の時間帯の運行がなく、休日は9時～17時の運行のみになっています。

2017年まで1日22本 (40分毎・イメージ)			2023年まで1日11本 (80分毎・イメージ)			現在1日6本		
時刻	平日・土日祝		時刻	平日・土日祝		時刻	平日	土日祝
5			5			5		
6	●		6	●		6		
7	●	●	7			7	15	
8	●	●	8	●		8	40	
9	●	●	9	●		9	58	28
10	●		10	●		10	54	
11	●	●	11	●		11		
12	●		12			12	06	
13	●		13	●		13		
14	●	●	14	●		14	10	
15	●		15	●		15	53	30
16	●		16			16	50	
17	●	●	17	●		17	13	
18	●	●	18	●		18	28	
19	●		19	●		19		
20	●		20			20		
21			21			21		

バス空白時間帯

## 議題③この地域らしい「元気な移動を考える」

- ▶この地域の健康志向を活かした「無理のない移動方法」を考える。
- ▶シェアサイクルなど「あと少し」を埋める交通手段の可能性。

### 議題③に対する委員の意見

- シェアサイクルや電動キックボードは、「高齢者にとって危険を感じる」。
- 「折りたためる新たなモビリティ」は高額だが、乗ってみたい。

## 議題②路線バスの空白時間や空白地域をどう補うか

- ▶空白時間に「何が足らないのか」を地域で考える。
- ▶タクシーやデマンド交通/マイカー乗合交通など、新たな交通手段の比較。

マイカー乗合交通  
相乗り



デマンド交通  
相乗り



### 議題②に対する委員の意見

- 日中の時間帯2, 3本で良いから「池55系統」を復便してほしい。  
(乗り物を導入するより復便が望ましい)
- この地域にデマンド交通を導入し、自宅近くに停車ポイントを設置してほしい。
- 福祉施設等の送迎バスの空き時間を利用できないか。  
(地域資源の活用として)

## 新たなモビリティ(例)

WHILL Model F  
折りたためる  
モビリティ



LUUP  
シェアサイクル  
(電動自転車)



LUUP 未来の電動  
マイクロモビリティ  
※開発中



LUUP シートボード  
(特定小型原動機付き自転車)

